

## 報告 5 資料 3

### 2020 年駒沢大学大会における学術委員会企画提案

文責・桜井政成（立命館大学）

#### 1. タイトル

パネルセッション「東アジアにおける社会的経済と社会的企業」

#### 2. 主旨

社会的企業の国内外での台頭は、NPO 学会における学術的関心の焦点のひとつとして、無視できないものがある。近年では世界的な国際比較研究、あるいは、アジア地域における国際的な研究のアウトプットが相次いでいる。そうした流れを受けながら、東アジアにおける社会的企業がどのように発展しているのかをとらえ、議論する場を設けるため、本学術委員会企画を提案する。なおその際に議論の補助線として、これもまたアジア各国で注目が集まっている社会的経済概念を用いて、公共経済学、社会政策学的に論じたいと考えている。

#### 3. 企画の位置付け

- ・本企画は国際公共経済学会との共同パネル企画としたい。国際公共経済学会側への打診はこれからであるが、同学会理事の金子勝規先生が 2019 年度大会の基調シンポでいただいております、連携は可能と考える。
- ・また国際交流企画としても位置付ける。報告は日本語と英語のどちらかで行われるほか、関連する国際研究大会の紹介などもパネルの中では行いたい。
- ・加えて、本パネルは、2018 年度日本 NPO 学会スタディグループ「アジアにおける社会連帯経済と社会的企業研究会」（代表：桜井政成）の最終報告としても位置付けたい。

#### 4. 登壇者候補

- ・ Lim Sang（Assistant Professor, Graduate School of Public Policy and Civic Engagement, Kyung Hee University, South Korea）
- ・ Ying-Hao Huang（Assistant Professor, National Dong Hwa University, Taiwan）
- ・ 岩満賢次（岡山県立大学 准教授。国際公共経済学会理事）
- ・ 桜井政成（学会理事。企画のコーディネートと当日の司会）

#### 5. 予算

- ・基本的に学会方針に従うが、海外ゲストの交通費・謝礼は別予算で執行予定であり、学会からの支出は考えていない。